型が

究の結果陸海軍の空軍を航空を研究し米國でも研 **空省の設置によつて統一** 

航空省設置の可否は各國と

【東京國通】明年度兵備改善

の二項目で二年乃至三年位の一る

實及び整調

と見られ

林陸相、大角海相は之に對し計つては如何かと提議したが

天々左の意見を開陳した

陸海軍、民間其他各種航空

員

及び制度の改善 一、一般部隊の編成 する複様だがその主要事項は する複様だがその主要事項は

在構部除派遣に

除の充

関防豫算に関し高橋滅相が陸

様であるが陸軍地上部隊と 構であるが陸軍地上部隊と 様にある

**國際電話インタービ** にある杉村大使を呼

リーニ首相と會見、今回のの常の會見に先立ちムッソリーニ首相と會

國際電話

で杉村大使に聽く

に眞相

の點で特殊の聯繫を必要と係にあるため平常より多く

過を聴取した

ふ事も傳へられ、イタリー した様子でムッソリーニ首 した様子でムッソリーニ首

へてゐるので余はムッソリ ふたとか極端なデマまで稱

ニ首相に對し日本政府は

全國の空氣は餘程險思、

陸、海兩相こも反對

充實を圖る模様である 持の萬全を期し難い事

兵備改善費

持の萬全を期し難い事情にあるので結局明年度に於ては若干の兵力(東京國通)關東軍兵力問題に就ては現在の關東軍の兵力では治安維

る英國には大職當時設置し 結論に達し今日に及んでゐ

ツ

萬全を期~

難

關東軍の兵力を

明年度より若干

現在の兵力では治安維持の

二月 設行所 M 48 17 新聞社

17 8 三二十二 門門 五十五 類 類類門 井上洋服店 召服

鍋

ない今日かかる先古

# 【東京國通】高橋藏相は來る

する摩例を設する筈であるがたので二十六日公債政策に開 を奉伺したる後八月一杯同地用邸に伺候、天機並に御機嫌

藏相廿六日聲明書を發表

重要性を説き公債消化力の現 ちんとするものであるないとの前提から公債政策の 駅を述べて一般の注意を喚起

本場にあるムッソリーニ首 立場にあるムッソリーニ首 立場にある、さりながら 本の情報である、さりながら 本の情報である。さりながら 本の情報である。さりながら 本の情報である。さりながら 本の情報である。さりながら 本のもいのように はいる。 である階國とは自ら別個の である階國とは自ら別個の

五日頃出發一臘内地に立寄り任地郷州へ赴く筈だられたが近く後任の中野領事の養任を待つて二線領事館副領事、佐々木高義氏は先に無州領事館在 五日ごろ出發

ないが本國政府の意向を體験が、王兩國間の問題が今

通り願對した迄である、勿相の質問に對し余は以上の

施され職員の任命を見るはづ 左近司中將

清海號香港着

(香港十九日愛國通)阿野氏 ・ 富地藩、機翼修理で二、三日 間瀬在の上上海に向ふ筈であ

分離せよとの意見有力となってある、陸海軍の空軍を 統制し航空省に纒めるは到 底不可能である 政の統一を計る爲現行航空本一廿三日(東京國通)陸軍では航空行一定した 敗正さる の研究所 び所澤に飛行學校を新設明野 本部内に航空廠及び航空技術部令の根本的改正を斷行し同 定したが關係軍令と共に來る することとなり十九日會議に ケ原濱松各飛行學校等を擴張 公布、八月一日より置 設置し更に熊谷及

設とは不即不雕の關係にある

輕視することは出來

は十九日午前十時より臨時株【東京図通】北樺太石油會社 主總會を閉き社長に左近司中 北樺太石油會

臨時株

その日く

『事務さんは、まだお師りにな

計算要は、突ひながら部門を出

若干増加を計畫、明毎度陸軍豫算、 在満兵力の

裏の裏がありそう

地下に眠る功勞者に果して酬建國功勞賜金近く下賜の模様 はれたものは何

職争が勃設した場公日本政 ア政府を援助するとか、政 に字垣大將が伊エ兩國間に は字垣大將が伊エ兩國間に

突破、躍進の國都新京を語る明年度公置豫算實に百萬圓を

往來

不偏不黨を强調

のか或は重大化するものかのか或は重大化するもの状況は判らない、然も日本にとつては友好しては、一種のである。然し兩國紛争の解決はる。然し兩國紛争の解決はである。然し兩國紛争の解決はである。然し兩國紛争の解決はであるところである。 漢が、時々、球悪のところへ歌 なつてゐた、珠悪は歌に、 愛い

の静観方針を强調した と我が立場を説明、不偏不**常** 

杉村大使の

の見地から幹細調査中である関東軍當局に於ても共同防衛制の法強砲事件については

が目下のところ開東軍當局と

交換することとなつてゐる重要であるから近く公使を重要であるから近く公使をに對しては通商上の問題がに對しては通商上の問題が

剛東軍當局も調査中

通商擁護法發動

に今日までの經過を述

『澤洵氏(北海道大學教授) 「本テル投宿」 トホテル投宿

在外使臣に訓令

失言に

失言問題に闖し外務省首腦部【東京國通】杉村駐伊大使の

同にヘハビン蒲鍛

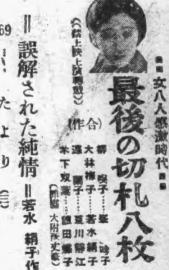
の日へ入つてきながら、から皆然だつたのでせら?』 さら云つて離かに削き度いほど てゐたが、却つて、自分の形が つて跳ねた。 『今日あたりは、お願りになるだった。 「え」、まだ。おいりになりま がとがふのは、みんないりである。 原西が配への配用を伸びた底 つていいま質問際長の云つたと ことは、すべて出館目のやうな 藤田氏が、自分に云つてるた

も行つてあるのかがれない。 を見てあるといった女の人を連れて、縦楔か、繋形あたりへで 然に前々してきて、何ともぶへ ない不安を応じてきた。 かう思つてくると、球点は、

になつてきた。

同が乗つて、氣分が重い よしん〜が痛む、たな揉 んだり歌いたりしたなけ です、手試に傷を接しもの です、手試に傷を接しもの を飾りながら揉んでご覧 なさい快感そのものです

頭が重い、関が痛む、或り は神經痛。ロイマテスなど……すぐテロメチール を振り込んで伸閉なさい テクーーと直線的に皮膚 から滲み込み、痛みはい つの間にか消えて満みはい



係を持つてゐるから今後のチオピアには重大な利害關

それにしても、今日、蘇田氏 戦悪は、むつとしてから言こ 誤解された純情=岩水桐子作 8

の人のことだから。すぐ自分の 返席を示めるか で、二三日してからゆつくり暗 しらと 味なんか何有るやうなお方ちや んですれ 『おや、いやに事務の順を言つ ないと思ひます 今川際ると明有つて、

するやうな個似は止さねばなら 田氏の師つてくるのが作ち強し 球悪の気持ちは無つてゐて、職 それはどつちでも縁はない。 と、から思ひながらも、 職 からして無難にばかりるないで と、脳管のやうに云つて、 『あはゝゝ、馬鹿に忠實なんで



つの間にか四時近くまで過して し前に、 しまつた。 しかし、四時の時間が明る少 部院りの手がや影響をかつ、統一が、暖悪のところへに、年後の影響がきたとみ

とを、傾有つてるましたが・・」 母ると、今日は、贈らないかも ると、きつと、値町のでも作れ 何だかがりませんよっ かけいらないとす

◆吉武正男氏(ハルビン満缀事務所)同

本井出治氏(陸軍主計線監)
同

本勝が勝(飛行脈で令官)
一十日行起後本演制)同

本藤木幹式(満敷計員)同

本藤木幹式(満敷計員)同

一十日行起後本演制

大人 は非常に置大視しその慣相を が 斯かる失言をなすに至つたの は帝國政府の興意を諒解して ないためであるに整み外務 とは非常に置大視しその慣相を を在外襲臣全部に致し在外後 を在外襲臣全部に致した訓令

外務省當局談發表

ののの

は、こ、南京虫の塩しるとに壁ると虫の森を消しとに壁ると虫の森を消しとに壁ると虫の森を消した。 た、おできになつた、とた、おできになつた、と

で置くを要す で置くを要す で置くを要す で置くを要す

外泊藝妓一惠

貫▲豚千六百十七頭二萬八十二貫▲糠十二頭九十九二貫▲韓十四頭百五十二頭九十九

△牛二百七十九頭一萬八千

妓女に賣らうどて

六才の幼女虐待

ウズ高く積まれて開菜の日を ・ で二十日より正式に販 ・ 関閉始することとなつてゐる ・ 物品は四五日前教化站倉庫に ・ 物品は四五日前教化站倉庫に ・ 物品は四五日前教化站倉庫に ・ ので二十日より正式に収

瀬洲國官吏消費組合は先程準

近日開業 敦化官消

光畜に勝る鮮人冷

血夫婦

**貧苦の爲め獨育の力** 殺され實母は病死し

て明月溝、蛟河間の滿官吏に一名を使用し敦化を中心とし同組合は日本人二名、滿人

域内方面から密かに持ち込むものを加へて一ヶ月五萬貨の 肉が附屬地内で消化されてゐるわけである各種別内譯を示すと次の如くである

はに対し所要の教育訓練 避関教育訓練計量に基き 問題ディ」には新京聯合 問服を着用するものとす

赤痢入院患者

現在七十九

エ (二四) は薔妓酌鱒取締規の室に外泊してゐた富士町料の室に外泊してゐた富士町料東亜旅館二十四號室堀江庄吾

多く大が牛、馬の

なるものこ長ら を記にして品性高漢身体強 を記にして品性高漢身体強

百二十四名領警管内七十七名 | 科料十圓に處せられた二十日午前現在に於ける新京 | 則遠反として二十日新

部級の年齢は此限り

関の富者を決定し見る。其他の見透り出迎

東邊道饑饉の

苦力移動狀况

二戶無職妾周率 (三十九) 妻基中松現住所圖們市南區四統

その他を示達

新京聯合防護團で

ものを加へて一ヶ月五萬貨の 順角量四萬九千四百七十三貴 が附屬地内で消化されこの他 が附属地内で消化されこの他 が附属地内で消化されこの他

の主なるもの左の如くである 入満数 大連 九、〇三八 一、七八〇 一、二二六 出満数 大連 七、五三四

一四一一五七七四四、四二三八七九五九九 四二三八七九五九九 三四六六五二〇七九 九三一二三〇一二五

對しては

りを緩和した事は注目で終われた事は注目が表示に適応で、一点を事件以来をできた。 業 二・三五〇

(内は監視船『飛龍』も近日進水式を暴行する管だが廿三日の進水式には変通部大臣李紹 更氏が臨席することになつて ある

防護デー制定

肉の消費なる

れら五萬貫

強て交通部で設計建造中であった河川測造船二隻は夫々、つた河川測造船二隻は夫々、「興安」「興凱」と命名され来る廿三日へルビンに於て進水式を舉行する事となつた、この雨船は廿三噸、八節の小型ながら風や波に充分耐え得の過ぎに対している。

嗜好は豚

・馬の順

の胃袋は大丈夫

通のため今回新京漁通町二丁 事ら激爆に當らる」が同志信 者にして入講希望者は前記に 申込まれたしと

ダンス教授開始

新京親會場開設

尚事部營業所

幹部更任

新京中央郵便局

局長着任

つどひ

の出を拜する

右之通り御諒承成被下度候毎日午前九時より午後四時まで

新京商店協會

龍谷大學生

今夜講演

==

朝澤 午前十時十分

本基督集會

なり目下準備中である

全滿商店聯合大賣出

募集

女給仕 歌翩路寺元書

扇芳亭

一十日午後八時から東
と戦服、藤村博秀の三

=

「『危機と品性』 吉川 は 一 「危機と品性」 吉川 は

一回州外庭球温手権大會一回州外庭球温手権大會工一回州外庭球温手権大會工事育庭球部からは加藤監新育庭球部からは加藤監新育庭球部からは加藤監

引換場所能念公會堂第四集會所

間至入月十日(日曜祭日を除く)

景品引換廣告

# 満洲國皇帝陛下におかせられては

拜受退下した

せられ入院加療中の將兵に

り國民上下の感激に耐へぬ でるところ更に特別の思召 を以て我恤兵會に御内帑金 を以て我恤兵會に御内帑金 を以て我恤兵會に御内帑金 るは吾人帝國軍人はもとよ

東京衛戍病院に御親臨あらたの歌に離有き御言葉ありまたの歌傷者に對したのなる皇の歌傷者に對したのなる皇をの歌傷者に對したのなる皇をの歌傷者に対したのない。

り十九日夜四平街に押送され

持に對し深く嘉せられ今回御内帑 ばされた、西尾参謀長は二十日午 前十時宮内府に参内恭しくこれを 金二萬圓を愛衂恤兵會へ御下賜遊 關東軍のたゆまざる討匪治安の維

始すべく過般來日本橋通り新 後社交ダンスの個人教授を開 を計算を開いている。 を記述する。 を記述述する。 を記述する。 を言述する。 を言述述述する。 を言述する。 を言述す。 を言述する。 を言述する を言述する を言述する を言述する を言述する を言述す を言述す

新しい空氣を吸ふのも一興で 國幣七百二十圓を安

清鐵新京石炭販賣事務所が新 たに溝鐵商事部新京營業所と して改組の結果、前主任吉田 第三課礦油保主任に榮輔、代 つて庶務主任宮本清司、第一 係主任横田組成、第二保主任 版東耶馬男の三氏が来任二十 七月二十

机京教會禮拜 日午前十時半新京

日本

現大洋動砂票 11000 現相場 11000 TOWERSON TO SERVICE STATE OF THE SERVICE STATE OF T

市民早起會は六時より (新京日出時刻四時十四分) (新京日出時刻四時十四分)

月の休暇を得て十九日午終のグルー米図ブー 夫妻は休暇の大部分をワジンフウバー號で躑國した、大使 収を得て十九日午後六-米國大使は今回四ケ

哈爾賓見物的

助六食堂

る確定であ

來年度強算<br/>
、大體左の如く決定、新規要求は約四千萬國でその種目左の如く決定、新規要求

**南測量船の** 

進水式

李交通相臨席

新京區公示第一四號
野犬縣除ニ陽シ左記ノ通り
野犬縣除ニ陽シ左記ノ通り
野犬縣除ニ陽シ左記ノ通り
野犬縣除ニ陽シ左記ノ通り
東浦洲鐵道株式會社
南浦洲鐵道株式會社 ボアリタル

雄

新京警察署省元第六號 至ル間新京附屬地ニ於テ野犬 軍除す行フニ付飼犬ニハ飼主 リリリーキ頸環ホハ牌子リ 所を対したのの 野和十年七月十日 新京警察署省元第六號

告

0

御

用

命

は

電

話

Ξ Ξ

0

0

番

0

要は休暇の大部分をワシン お土金にお土金に 新市街美州街かな御座敷の





濟號窯場經理

龜橫渡波君 山邊多山 野平 力軍利次 進松彌雄郎 殿殿殿殿殿

愈 A 開 業 披 露 時間



廿一日御內着帶式

# 皇后陛下

交 通

會

社

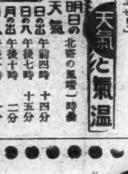
初運等

# 1 開員の集合に便なること 有すること を選手入進出の多数の通路を 如し非常集合場選定の要件左の 雅合防護國本部に報 は至急非常集合場を の目標を有し位置 を有すること が協和會その他の募集聯合會及 が協和會その他の募集聯旋に 配に数千圓に建する 質の取扱つたものを 質の取扱つたものを 同情醵金好成績

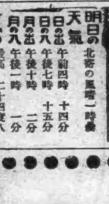
もので當局はこの稼ぎ酸金のなる同情に依つて集められた 美人局の情夫

月に渡つて鬼畜の如く殴打、して養女李玉姫(六)を七ヶとで養女李玉姫(六)を七ヶ れ質文は先年共産黨の爲め暗 ・三谷居住李某の孫女として生 ・三谷居住李某の孫女として生

九日休暇歸國 中銀對財政部















日大入滿員御

次 2 郎 新 0 丹下 京キネ 左 000000000

壓倒的人氣沸騰!!

て行く数をつひぞ見かけなかった

かつたもので、つひ、お二人蜜の

製剤権がそばから急を押した。 製造される日の朝のことだね!

さらです。その日は、野近

を選ぶくでしたが……」

「すると、その登明、朝とふつ

易だてに、その時には異を渡してですが、そんなわけで、つひ、心

担

「アンナは鏡を持つてゐたのか

一〇、四〇 二、下西 市市 市市 市市 市市 市市 市市 市市 市市

報譚連美

トへ手紙を漸墜で出しました。

私はアンナさんのアバ

ず即案内して、ドアも私が副で開かったものですから、いつもは必

それに私はほかの仕事で大髪忙し

を貼らわかつてるますし

名刺もいたといてありますの

受取つたのはアンナさんの方です 留守でしたので、その髪H、鍵を話をかけましたが、お二人ともお

度見て耐は知つてるました

一私がうつかりしたのです」

第一の殺人

あったとさつき云ったが、するとあった比には、そのホールの鏡が

が

殺

た

か

寺史

雷氏外

八、五〇 時報、二

これは、その女の方も男の万も

『すぐにセントラル経路場へ記

十一日(日曜) 新京 (午前の部) (午前の部) (午前の部) (午前の部) (十二) (大 ) (

再婚場ではアンナと云つてゐる

要を係長は、また意味ありざう つて配つてしまつたのです」 それが、お二人ともおれて行

で付へ返して配ったのだらう

を出めての

場の表へ出ると、すぐに配タク

(この篇國枝史即作)

「セントラル経路編へ!」

山莊濱春 即 見枝子田 記 開口 大部作 (東 京)

●六白の人 機まず動まるれば多少の障碍も取除き得るである人 首尾一貫して何事も満足するに至る幸運日内と突と丑が吉 へ 気移りを或しめ

推 ( 養 貨 金 ) 強

**小兒科** 

医鸡

命以元

院長

太白

く三層へ上つて見ました。すると たと云つて壓けてくれました。気がついたのは、凡七 にアンナさんが難関場へ出がけで たらしく。ドアには鹿が掛けてあ に配ったのでせる。見付にはるい 世帯のことで支配人の部屋へ出た した。ちょつと中を見てすぐ とつくにお二人は魅って行っ

のなら、アンナ並にその連の平泉 エ が起されたのだから 変配人のとに、常然電大な能ひが うつかり伝れて鍵を持ち歸つだ しかし、鍵を返したあとで専門

と考へて、軸屋電影解は、手帳 「それにじても一層は……」 

石通模粉失候二付爾今無効ト可致此段廣告

預金錢高金票四百三十六週七十二錢也

昭和十年七月十九日

滿洲中央銀行南

新京神社南

一、香號第一號 病州中央銀行南廣楊支行特別當座預金涵縣

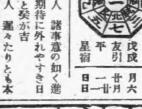
通帳紛失二付無効公告

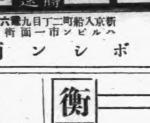
、預主高橋喜郎名個



都會の舟唄 出 供 奏指揮

●一白の人 諸事意の如く進





器

取扱至極便利 經濟

商店

向(住宅附)

貸家廣告

外ニ獨身者貸間あり

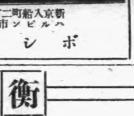
御用の方

がは左記へ

(ダイヤ街老松町)

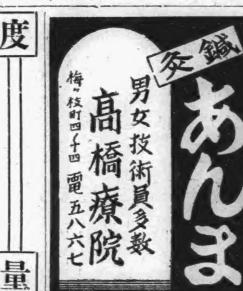
の御用は電三三〇〇番へ・

丸三合名會社



(E)

新京日本福通 電話2641.5540.6531



擔任講知 藤 清 香

御希望の方は左記の住所へられました御信者方倫又當大淵洲國教化弘通の爲め當

遠講 利通知御多拜下さい 地在住の皆樣方で是非入講 地へ多りました内地より來



日行

\$17

品 切











十三、浙 織道 十三、浙 織道

八キロを建設し、民國三年 これを交通部に移管國營と なつた、同八年政府は嵩興 の建築に着手したが、王事 学ばで経費の不足を來し、 加ふるに再三再四の兵哉に より工事積行不可能となり よりなのまる今日に及んだ

を設定をは自二十萬元見常であるが、同鐵道の低存材料及び各地鐵道局の銀金材料及び各地鐵道局の銀金材料及び各地鐵道局の銀金材料をこれを官排、商辦官商合辦とこれを官排、商辦官商合辦である。しかして將來これを官排、商辦官商合辦ところ未定である。

式(短期)

で、ソヴェート聯邦の東亚に 於て企圖しつつある鐵道敷 於て企圖しつつある鐵道敷

根するは米棉の輸出に對し 非常なる悪影響あるを以て 本法案は撤回すべきもので との意見を述べた後養成を得 で、 との意見を述べた後養成を得 して憂慮されたアメリカの日 して憂慮されたアメリカの日 上て憂慮されたアメリカの日 本人絹、生糸に對する課税法 素は日米現下の通商情勢に鑑 格は八厘から一鏡である。右 本人網、生糸に對する課税法 許で取引された、その取引價 本人網、生糸に對する課税法 許で取引された、その取引價 本人網、生糸に對する課税法 許で取引された、その取引價 本人網、生糸に對する課税法 かる。 本人組、生糸に對する課税法 かる。 本人組、生糸に対する課税法 をした。 本人組、生糸に対する課税と 本人組、生命になる。 本人になる。 本人になる。

藤原銀次郎氏

同り出破りよう。

四五十銭 荒井 組設決定 一千三百三十二

哈府間複線工

本會議で長業調整法修正法案 好轉を反映してゐる〈單位一本會議で長業調整法修正法案 好轉を反映してゐる〈單位一和以十八日のエメリカ上院の 五分増加を示し、日支關係の本自議 少したのに、日本のみは一割 かんば十八日のエメリカ上院の 五分増加を示し、日支關係の本自議 少したのに、日本のみは一割 かんば十八日のエメリカ上院の 五分増加を示し、日支關係の本自議 が高務 といる。

二、八二六 (一割五分增) (二割五分減) (四割四分減)

新煉瓦より

品質のよ

い古煉瓦

既に百卅萬個取引

れ りも優れて居ると云はれるこ の とは新製品の粗製濫造の痛糧 である

●國都建設局 ・ 一根 一 日 午前十時 ・ 一根 一 日 午前十時 ・ 一根 一 日 午前十時 ・ 一根 一 七月廿二日午前十時 ・ 一根 一 日 午前十時 ・ 一根 一 日 午前十時

0000 0000

實一志片 八分三寶一志片 八分三

阪株式(短期) 式相場 日本生糸、人絹課稅案

上院で否決

スミス委員長の條理ある

工場抵

當法施行促進を

法案撤回理由

った 上に明朗の氣運を加へるに至

三〇、九九六

酸と産業畜産の繁榮の二點の目標は基礎的國防資源の

# 基礎的國防資源と 滿洲 資

(E)

○ 州國的産業スローガンであつべ 此の産業革命への進軍こそ滿 

△鑛物資源

たづ日本の産業上最も密接なる場係を有する天然資源の一たる鑛物に就て見るにその主たる鑛物に就て見るにその主なるものは金鑛及び砂金、鎌鉄、鉛鍍、錦鍍、硫化鐵鍍、

日 は九十二萬三千鷹、鉄鐵生 であるが昭和六年の採場額 であるが昭和六年の採場額

は火力强く優良なるコータである。本溪湖、田師を誇り、又水素ガス其他の副産的利用信値に富んである。本溪湖、田師布濤は火力强く優良なるコータスが得られ、製織用として大が得られ、製織用として大型油の五〇%以下の帳優に富んとである。今後の問題が可能である。今後の問題が可能である。今後の問題が可能である。今後の問題が可能である。今後の問題が可能である。今後の問題が可能である。今後の問題が可能である。今後の問題が可能である。今後の問題が可能である。今後の問題が可能である。今後の問題が可能である。今後の問題が可能を終めれて、 方面の注目

と、 ・ は、 、 、 は、 、 は 

で、米獨の原織資

付骨

出引寄▲鬼 出引导 来 七物 零高 一十 天

10至10 1万字 1万字

五月限 九月限 一、第0 上、第0 上、1 日 上 市

品市 况

·作 特 超 活 日· 演生子リエ條西・二弘田中 學大性女新

100 to 10

天六

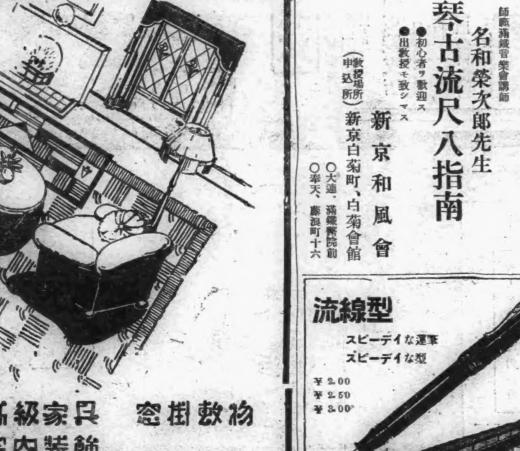
九日 左

一大阪綿糸

新京取引所市况 (七月二十日前場) 現物 (一石值段) 現物 (一石值段) 現物 (一石值段) 現物 (一石值段) 是期 (混合百斤值段) 等 引 出來高 10.50 三車 十月月限 等 第 3 出來高 11 日本高 11 日本高 11 日本高 十九日 兒

株式(短期)

大大大の一件 業修者武國人美 不日の番組●







軍 諸公株武債 賜公債 現物賣買 命次第係員を 會合 社**資** お伺 別高價買 廣本洋行證 ひ致さ 電話展二〇四三番-

農業及び畜産 期待される化學及び加工品 源ご其開 發

確固たらしめるものであらう とそ管に滿洲國民の顯利增進

**教邱三萬順である、上記各勝二萬順、鵝立崗五十萬順** 張順、間安十萬順、田師布

満洲工業會で 三時横濱解欖のエン

業を観察するため十九日午後がに遊び同地の製紙業並には受職の製紙業がには

後林ナね

本青森縣では産業 ・大資本家組織された、これは特本、大日本産業組合業 ・大資本家組織が と見られる、大資本家組織が と見られる、大資本家組織が と見られる、大資本家組織が を見られる、大資本家組織が を記載の進出は遅過ぎた感すら ある、ともあれこの新黨か全 に至つたら日本の政界には一 に至つたら日本の政界には一 を高清さが加へられるに達 をある、ともあれる。 を考ふれば を表記して行動する に至ったられるに達 をある、ともあれる。 ともあれる。 ともあれる。 ともあれる。 を考ふれば を表記して行動する に至ったられるに達 を表記して行動する。

第二回智

★上海爲替

為替相

場

**商况**欄

第 第 一 ▲ PP 回 倫 回 買賣 買賣 第三回 第二副 第三回 







胃脳をこわされ

模似的頭痛藥!

聯の逆抗議を

廿二日緊急理事會を開催

〈倉商事

っカ

一大開發會計

設立に決定

在浦鹽の

新刊

ツ聯幹部

資本金

千萬圓以上

となめたが十九日無事虎林に一受け船体其他に多数の彈痕を

業の不常なる所以を指摘し、ヤ氏を訪問今回の日埃條約

は對立関係にあった爲在々響

明ありたる後、質疑應答ありの説明、申告書檢査手續の説中、申告書檢査手續の説

協議事項の協議に入つた

に就て同國政府の熱烈なる

蒙政部の新

一十五萬圓を産業開發に

に振り向ける事となった

各地調査主任出席の下に廿日管務課長、御厨文書課長以下

通」文化親善使節堀口九萬 T 氏は目下當地にあつてウルガイ政府當局との間に種々打合 せの結果當地に日本公使館を 設置するに意見一致した様子 で十九日ウルガイ政府は日本 公使館の設置決定を公表した 堀口特使は更にウルガイ政府は日本 公使館の設置決定を公表した ボーニ回國際オリン

再 夜 魔に現は

外交部嚴重抗議せん

事實無根と回答

二十日附ツ聯大使に發す

當り相手國に文章を担

むる等の宣傳行為は

對加通商擁護法の

路襲し鴻洲奥地の天然資源開|内蒙各地方・光代放大倉喜入郎翁の遺鉢を| 叕並に興安を

の通商に乗出す

地に調査員を派遣實情調査中可く内地各資本家に貼けて各

る演説會に於て主として鮮す レイスカヤ五一クラブに於け という。

雅の絶えないの 新京の道路だ、 新京の道路だ、

をアヂる 鮮支人勞働者

M. M. Change Cha

全な撤嚴を事断的に要求す

て左の如き演説を行ひ彼等が

聴衆に對しソ聯

してだけダンピング税を附

瀬原國 に對する 悪宣傳に大

か改めて質ひた

で質ひたいとの要素

新刊

カナダ政府は日本品に對

勅令案文決定す

一ケ條よりなるも

慶明書を發表し自國の態度 の行動に出た事は遺憾に堪 へない。 政府としては何れ

異へるどの非難は當らない て日本品に對し差別待遇を課してゐる譚ではなく從つ

但し右が郵便物なる場合比

型又は積出地の

開税交渉は

一旦打切り

表明する方針である

香 五 七 通 橋 本 日 二六五話電 賽三四〇二長電

# Production of the state of the

酸行所

エチオピア各地に

車事會議招集

又復衝突か

レアで

康德二年度豫算 月迄に提出方命令

暦年制に依る最初の豫算

新規事業は果る

では、一般會計は九月が年か年分であつたから全一 を、一般會計は九月が年か年分であつたから全一 が年の本年一月から十二月末 のをでは、二年度 新規事業を認るか頗る興味を 自治警察に改組

附を以て各部並 | 右鎌算は暦年制採用以來第二 | であり、

たことは甚だ面白くないと述 から日本からも代案を速やか にエデブトとしては成るべく はエデブトとしては成るべく

田邊参議婦 兄ペルピン方面視察中の満洲國際出邊治通氏は廿日午前六多調田邊治通氏は廿日午前六

程確固たる自信を得、且關係の作製に齎手してゐたがこのの作製に齎手してゐたがこの

もの多く質量の日

れ勝還者観出の有様だが軍隊フリカ殖民地に出征したイタフリカ殖民地に出征したイタ

歸還者續出

萬三千の中からも死者七十名。「ジュネーダ十九日設関と同時に出征した勢働劉約三 降明 里子 に提出して**欲**しいと急速に新

廿九日より

十九日酸関通》

は既に二千人に達 「アデスアペパ十九日設園通 イ氏は十九日特に露明を設表 エチオピア政府は獨りイタ リー政府の委任統治のみな ちず外園政府の統治は凡て 担否する

外國政府の 

四内は今や最事状態と協議してゐる、エル相次で軍事會議を

**委任統治拒否** 大型客貨船

り九呎波水、十九日は水位四 駅と報ぜられ大型客貨船は航 行不能となつた 今年は奥地方面の積雪量精準

和 日補商工業者の待望してゐる が、大體八月中旬までに公 布、康德三年一月一日より實 施される豫定である 一月からか

實施は來年

制定近し

特許法の

新刊ける

を新京に置き補州

昭和九年

游 嚴 洲 松 常

春

明

ア 金新メ <sub>短</sub>リ

分析要目 | 校入支出

故信信却 牧 益 率 国、转 率

際酒工會議所組

本邦事業成績分析

新刊

日本公使館設置

堀口特使の活動し

世界經濟

0 動向と 金原賢之助 海州布製五〇〇頁 定假 三間五十銭

遊佐慶六者

羅馬法制史概論 戶堂

近代法に於ける羅馬思想の潮流ー

英國議會制度の影響明治立憲思想史と於ける 浅井

**育木 得三著** 

ダ政府意向

统二十八百

請負經營契約の改訂

滿鐵銳意研究中

三港の運賃均一性も考慮

埃及外相新條

老庫中である。

國間の關稅交渉に就き十九日ネット首相は日本、カナダ用

社

說

の手を待

外地三長官を 岡田首相招待

北支各省の分布情況左の如ぐ北支各省の分布情況左の如ぐ北支各省の分布情況左の如ぐ

に工夫された思想的からくり り、――要するに資本主義的 り、――要するに資本主義的

本河南 (英)、三06 福公司(英)、三07000個 東、000元 第07000個 東、000元 第07000個 東、000元 第07000個 はれてゐるが、旣に採掘され 大なもので、年産約四百萬噸 大なもので、年産約四百萬噸 でとして計算されても尚八十年 として計算されても尚八十年 をは振掘出来る澤である、柳江 を放雨離は最近生産上も資本

全支場議量に對する を支場議量に對する 関合 八五、一人バーセント 関合 八五、一人バーセント 関合 八五、一人バーセント

署長殿へ

豊かなるその資源

て見るべきものなしとされ

とされて

鲁大公司(日支合辨) 10°005元

省別出産状況は左表の

家観念の福養家観念の福養

言はれてゐる

で仙女牌が最も覆行が好いとは五月、六月の覆上高は各々

五十萬圓の大倉洋行の情歌の 整保となつてゐて日本の勢力 下にある、恰立、臨城の炭鑛 下にある、恰立、臨城の炭鑛 ガードにあるもの大磯、日本のカードにあるもの大磯、日本のカードにあるもの大磯、日本のカードにあるもの大磯、日本のカードにあるもの大磯、日本の東国の勢

安東省

教育局長會議

0

廣告

の御用

命は

商工會議所で開催

會議所で

初の縣

月分の在荷があるところ本年 であると言はれ例年なれば三 であると言はれ例年なれば三

四省聯合協議會 作を協議

(七月平日後場)

10

三三

商况欄

島東亜局長、守島東亜局長、守島 金銀市况 CHI, HO ●上海標金

番二九三五話電街中イグ京新 寄付 署 中 出來高 ● 奉天國幣對金票 休 童

で 日本側は八百萬圓の入超をみ に操られる第二の日印會商即 たにも知はらず今回のエヂブ ち日本エヂブト 食商の開催を 製策を協議中であるが日本綿 獅子エヂブトにして反省なき以上 製策を協議中であるが日本綿 獅子エヂブトにして反省なき以上 と 製策を協議中であるが日本綿 獅子エヂブトにして反省なき以上 と し の態度はランカシアの意圖 に至つた サ

第二回 要 全三回要 社研 資 第二回資 三九弗一六分三

ソ聯の態度

放棄してソ聯を承認外交債をおいて、のではペルギーが、ののではペルギーが、進んではペルギーが、のが、対している。

金手形質

新京日日新聞社

六日町

五九

賀

煙公司

0

協議を貸した

債株現式物賣買 商

●日二月八●

爲替相場

元全、不無極

の が非常に有 が非常に有

へば雨の日の人力車なり

するために先づ國知 都としての

とも毎年その産出減退を見てるるがとれは支那の石油生産が比較的重さみ外國油より電便のため支票が比較的重さみ外國油より電便のため支票が比較的重さみ外國油と見てるものであらり、支那は毎年一億元の石油の輸入を見てる

四省、四川省。甘鏞省・新華省 等で主として生産されるが産 第0年 三年 

舖

入地

口

新工トト新新プミ工廠地業業產物業業船新粉酒糖新花麻新麻積株新信乙話新親電燈新親行行行分國ご

XШ 週 啎 物 時 洲

三三四二六三三三九〇九 一六 二三 一二一 三一二二一三二四五一 一六六一 一一 三三四二六三三三九〇九 九九九六九二七一七九三二三二〇五四一二四六一九一三七四三〇九〇三六七九九五七四〇〇〇七一八 六二〇三八〇〇五〇八二三〇五〇八五三〇〇五〇八三〇七五〇二八八四三七〇八六〇〇三〇〇一四七

青

切符發賣致居

动

六四

特等座席引換券 三勇士 等座席引換券へ • 名

●日三月八●

市島部助作島幸造造島即、原大系創造門六造。大大大大大大大大大大

等席 は七月三十一日ヨ は七月三十一日ヨ 於記時開演 7 リ座席祭引換仕候 スカラ御注意願マ

八月三日(金)二日間藝題は 念公

竹 日替り 五律

御觀覽料金 特等於座幣 金五圓 一等椅子席 金多圓 二等二階席 金貳圓

世界的國寶藝術

皇軍並在滿同胞慰問

文部省推薦

電話三三〇〇番への

田 中 組 五京 ·支

■新

御用意は是非此の期に! 七月十五日专八月末日 规 御報金上

修新小工质意 理調にはサ開 担替すり

**聯從業員中機關車常務員が退** 「ハルビン支局發」舊北鐵ソ

内」の特別加俸として四萬五一事實が表面化し物議を醸して職に際し「薪炭使用標準量以一千間を哈繳當局に要求したる

【圖們支發局】昭和九年七月

鐵路局では斷乎支拂ひ拒絕

个四第

思汗壕の傳説

押立てゝわれに有利な説を

三河地方から八六待避騨のあれ、兀求長城の別名があるが

も替え難いたつた一人の愛姫のは王にとつて世界の何物に

な外交官の冒動の標にあいま境なんていふものは丁度老績代物である、抑々陸續さの順待り関境!凡そ割り切れない

地方の関境線は東洋の風雲見 北方の関境線は東洋の風雲見 ジンギスカンが築いたと言ひ であれて居る、彼の名を冠 いたと言ひ

とは事違つて笑ひ話ですまされないから配介などですまさ

傳説の世界

流凉たる腹端はそれが古ければ古いほど跡形もなく売れて は何かそこはかとなき幽玄の 気が感じられるので、人はと かく停脱を創作してしまつて

北鐵機關車乘務員

た民會事務所公會堂の地貿祭 巻た民會事務所公會堂の地貿祭 巻

後五時より南大路の新楽場には十八日大安の吉日をトし午

Ħ

日領事館に於て打合せの上租職された調停委員會は十

事となつたので該問題る近く日中に調停運動に取りかゝる

相當の時日を要する。

見込みである、

民會事務所

地鎮祭執

十八日大安の日をト

らんことを我等は熱望する。

第一卷阿部良夫著ニュートンプリンシピア

平三年宮澤俊義著モンテスキュー法の精神

毎河野與一著ライブニッツ單子論

第十卷安倍能成著スピノ

ザ倫理學

朝は通り、

top

第九母朝永三十郎著デカルド

省祭錄

第八番羽仁五郎著マキヤヴェリ君主論

第七巻黒田正利著グ

1

テ

神

第六卷岩下壯一著アウグスチヌス神の國

ではない。現代人の立場から歴史的研究乃至文獻學的研究本文庫は單なる解說・單なる

となり、眞理を愛する心が强く喚起され、我低迷困惑せる現代日本の思想界に大なる刺戟

富なる示唆を與へられるであらう。本文庫が

が國の文化が本質的に飛躍向上する契機とな

學に就いて學び、

自己の思案研究にとつて豐

居る暴力密輸團取締の命使を

交通路は降雨止み**次第復覆の**轉休止の止むなきに至つた同

陽―赤峰間の自動車運轉に支承標―懸摩、承徳―悪摩、承徳―悪摩、

十八日に至り

入してこれを避け、將來日ソ 成は日支間に戰爭勃發せば同 地方を根據として勢力の伸張 を屬ると共に大活動を開始す べく割策中である

の降雨の爲損壊し北票 - 承徳 (奉天國通)總局入電によれ (本天國通)總局入電によれ (本天國通)總局入電によれ

安東取引所紛糾問題

を完全に懷柔し、紅軍の政策 は全部ソ聯級で何れも富錦方 理は全部ソ聯級で何れも富錦方

は天嶮に據り或は密林に潜

主要道路 熱河省內

イベルビン國通 北鐵接牧完 工主グラントの登記申請をな せんと續々白系露人事務局に 主心と讀々白系露人事務局に 工主グラントの登記申請をな

合計十萬余赤化地域工作

思想の普及に努めることと

思想の普及に努めることゝな直ちに縣民代表者を集め防空

所管の埠頭岸壁五十三米に亘港内の浚渫作業は目下水運局 【ハルピン國通】九月九日

る機務關係從業員に劉権用し所定の運用をない。 大觀艦式を控

一年から一九三五年間の

行ふとの個

官民招待官民招待

の分の為南地

(吉林支局後)今日

哈港浚渫作業進捗 大吉林の玄關口に

文店長の新任 に近く雄姿を

術優秀

御用へ



り河中の測量を開始する事とって行はれて居るが、航政局

満洲國に残り

後四時多數の官民な

北鐵從事員の希望者二千

東京城の雨地に鴻洲電々會社 住線沿線の都邑中小岔口及び

で招待し新

野を廣め、識見を高めることを怠るべきでな

共有の財産たる世界文化の古典に接して視

は、執筆者はいづれも、その擔當の思想家の研鑚に多年従事せる権威者にして、を生かすことに努力する従って讀者を見を通して古世界のとない自己の深く鋭き眼を通して古難解の稱ある諸著作を自家薬籠中のも、

我々は真に世界的大國民となるために、人類 るのは文化の方面に於ける向上發展である。 げた現代日本に於て、今日最も要求されてゐ 政治に、經濟に、軍事に、目覺ましい發展を遂

**過們稅關** 

屯海子の雨器間並に渾春驛 電海郵便銭道の渾春及び上 源春郵便銭道の渾春及び上

が が は 七月 廿日 は 七月 廿日

敍述を通して大思想の根本に觸れ、

如何なる

第四卷石

識著新

約 約

第三卷淺野順一著舊

第二卷二十

清著アリストテレス形而上學

第一番久保 勉著プラトン

理想國

第五卷出

隆著プロチノスエネアデス

教科書に於けるよりも明瞭に哲學や藝術や科

とを企てたものである。讀者はその透徹せる 真髄を抽出し、その精神を新たに把捉するこ る文化の盡くることなき源泉となつてゐる。

**本文庫は我が學界の諸権威がこれらの古典の** 

なる新しきものよりもつねに新しく、あらゆ い。これらの古典は永遠の若さに輝き、如何

事務は國境警察除へ引

山屯分駐所と共に蔵々閉止と順門、古北口の三辨事蔵巖止 人の旅券査證の事務を取扱つ 處は當地の經濟調査、入國外 處は當地の經濟調査、入國外 居たが、その後浦州国の設 

日本海企業支店

に闡明せんとするものである 古典の眞生命を新に發見し新

第十五卷大島正徳著ヒュー

ム人性論

六番中山伊知郎著スミ

ス

國富論

平四番木村龜二著ルソ

一民約

論

三木

清著

アリストテレス形而上學

第十九名茅野蕭々著ゲーテファウスト 第六番和辻哲郎著カント實踐理性批判

型工盤桑木嚴翼著フィヒテ知識

第一年矢崎美盛著へーゲル精神現象學

田邊壽利著コ

ント

實證哲

第七卷天野貞祐著カント純粹理性批判

雇

代表者の參列あり、六時中目行、三橋民會長各議員各機關

國境警察隊

豫

約

募集

のの

た、日本海企業株4 製材工場を北の工業地 心を設け、主 大倉社はかれています。本 たが元本を の質買を開

新車 2 九五番番

げるものと

桑木嚴翼著 イヒテ

第世五卷山田盛太郎著

第廿四卷高橋

穣著ミ

ル功利主

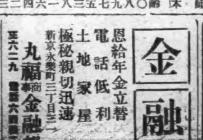
クス資本論

丹著ラマルラ動物哲學

聖大春立 澤

剛書ニイチュツアラツスト

7日間度左兆に御中込 の五七三十 C C C C C C C C









融

朝日通十七新京土地建物會业 化其儘低利多額貸 計 話で金融●電話

一三 友 社

**公認電話店** 

お大米と茶道具の 古野町一丁目を日本の

全廿六卷

四六判毎回約四百頁上製本 毎月二册配本十三ヶ月完了

書持參午前九時…十二時十三 事持參午前九時…十二時十三 来天市商埠地一經路六緯路 本天市商埠地一經路六緯路 等成公民教育協會 を選入を要す

青年紳士をまむ

大馬町四丁目 田 島 フラル・大馬町四丁目 田 島 フラル・大阪 東京日日新聞助電車車

三番 密観空心新京出張所 新京権を検明三二・自電電七三 両丁度能審携得太人来談あれ 郷二川 長 招 理 有無を

「質問 神奇風」

◆◆◆◆◆ 十五被三 行使行 日案內

權威者による古典の祖述

邦文 ないピストを成 連解の付

結核の

でもく水

最初のうちい

量后降下と御同列撃官、見

ブルーを用ひ、睫毛

に、必らず とかドウを

らはげしかつたせいか既たりで温度の變化がとてなかつたり、急に暑くな

お

ので温度り達と、... 今時分は胃腸病患者ば らすつと今日まで氣候 か、今年は梅雨の初ま か、今年は梅雨の初ま か、今年は梅雨の初ま

度の非常にちがふやうな日 には手敷はかかりませらが 何べんでも厚くしたり薄く したり、夜具をかげんした り、寝冷えもしないやらに してやつていただきたいの

が生じて來るに相違ない

(四)

を得る所はよい、」) を得取するが如きものであ っで旨く鍼脹に當ればそれか らそれへと、研究の毋を進め ることが出來るが其の脈に當 らなければ何日何月渉職して

これは群書を辿ってもない、思ばしといふ古話は

主義を可とするものである、この意味に於て、普通は精讚しては直讚しなければならない。

家なりによりて之を闡明することに力を盡すべきである、ことに力を盡すべきである、間水解することがあらう、體書子の愉快は實に、この時である、この努力を繰返す中には自ら自己の意見なり見解な 疑問に遭遇すれば他の著書 より先輩の数へなり、更に思

れから増える

子ごもの病氣!

特に肺に氣を付けなさ

故に經濟書を讀むに

通護すれば大概

しまざるを得ない、その結果 機の異る書籍を手にまかせて 機の異る書籍を手にまかせて では困難である初學者の如き立 ふべきかを断定することのがあるから一様に何れのがあるから一様に何れ

研究態度に就て

展帯ではなければならない書を形に任せて関

前はこの場合を指しいふまないことはいふま るから最早二人の間には同れていまつたのと同じであ (俟つ迄もなく既に事實上別 調和は起らない結婚生活に いっさな不愉快 いっな不愉快

主なる製作課目

營

業

內

# を許す以外に二人を助ける道はない、殊に二人の間に 子供が無いなら 尚更のことだ、余は結婚については免に述べたような意見を持つてあるが既に離婚を希望する者に對して東たわけであるを許して來たわけである を計して來たわけである。 からするとよい 有少

家庭常識

し試御けつーもせあ

要は信用ある店でお求め下さることがお得なお買方と存じます各種難貨は品質雑多の爲め容易に見分けのつかぬものであります

計

寶

石

の威力

残れず離れず癖まず師も軽く然め 歌頭虫映登巻虫の書、ニキビ カユキもの出来たる時が患い のり献手足指の間股間にムズ でえたむし汗 . Btvn ろしのかぶれ あとのかぶれ、

は対する。 は対する。 を整でする。 を動きをかける。 を動きながなる。 をしたをした。 をした。 を

版例試しの上海計算を輸びます の用薬は外力の良否能人にも明確 になる故職つきは出來ません。 五十個一個全身用籍

五會社山時常國

◇…日に焦

引立ちません

輕な化粧法

する

◆: 
が紅はオレンデ色の勝つ
たものをいつもより濃くつ
たものをいつもより濃くつ

去二十四年間「解きの神」

勤めて來た人であるが、

整、サービス改善への躍進

**基督率天一六五五** 

設市田東

五五一六番

Ħ, 四 三、高級

**]** ۲ 蓄 陸種を取錦へ更に加工細工もお好に依り施工致します時計は各社製品を網羅して保証責任付正札主義を遵守實石は各國

御用命をお待ちいたしてゐますす氣持になつて各種品物を取り揃へて店は皆樣のお買物係りですお買物遊ば **韓國産署智器の優秀なるものを特撲責任を以つて發責** ピクター・コロムピヤ、ポリドール、アイチタ、四社の製品は勿

經營の合理化、小賣物價調

新京ダイヤ街(永樂町一丁目)

削療治毒中類塩他其 不比ルモ·片阿

時計、蓄音器修理部

眼鏡枠カウス釦。其他金銀細工一般 メタル・微章・和洋盃・鎖・簪・帶締・指環

快裡に治療せらる

各種時計蓄質器機械の修理部分品の取替

和洋

雜貨

部

五二一〇五〇管管入入入 一大、〇〇

三五三一及下八三八八月

ルは治療容易

他の供給を中断せんか患者の受し中毒に侵されたる者にモルヒネ英 程モナールの差 舞を見る事性々にあり以てモル は持續性にして禁断症狀 る苦痛は到底幣人の正視し得ざ 注射回数と用量を著しく 解し且つ安静を奥へ 體力の増加替養健康を の安眠を得且つ食慾増 の發現を長時間抑制せら モルヒネ同類似麻酔薬の 解し且つ安静を奥へつるして禁筋症狀の苦痛を緩 福モナー れ治療中頗る爽快に夜

滿洲國及關東州特約版賣店(順序不同) 順天堂醫化學研究所 邊五兵衛商店

モルヒニスムス患者は 福モナールに依つて住

貴金屬加工製作部

不綾々御下命下さいます様に御職ひ致します。 脳の細工加工の需要を新京に於て雛せらるゝよう致しましたどう 新式型打機を輸入して網工工場を新設左記課目を初めとし各種金

□「變つた事がありましたか 産家には潤ひの雨。

ある岩石を飛び下りくしてを無理矢理に進んで身長程も

所 なつてゐる、一足魅るはづす。 を千丈の谷?

いふるわせ作ら

第二號を見ると、私は長春

5

タ食、風呂をすましてさつば りした浴衣に蕾かへ、松平先 建を彼方に見ゆる小山の原に 散步に行き、途中二手に別れ

は赤土が経典の標に立つてゐ に 足かけを振つて下さいました ので、一人づれがします、先生が ので、一人づれよじ登つた登 つた所は足巾位で又念な板に

なのでしばらくその實際を観れるのでしばらくその實際を観新京にはない本立の中の逍遙を味びつかいろんな歌をうたりを味びつかいる人な歌をうたりを味びつかいてみんなにさつきの自慢語に花を映かしてみせる。本がて九時の合圖に播除をすまし、外で終過でたが関日は雨模様だった。

たと思ふが

夏家河子便り

でした 場所ではありません

ちょつ

とこの評語は甘油ぎ

よるさとの老ひし母想ふー

來會歡迎

.

主催

本高社學梁

部社

又既へつけたりしてこの上間でかみ歳ひは强く吸ひ、程確實に増大しつゝある、

「現代支那の作家を語る」あり

場所中央通薪州國協和會會議室

入院隨意 電五二四三 商業學校正門前

七月二十一日 (日曜) 午後二時

第二回文藝座談會開催

トの情勢で含蓄禁い。

あかなる空 望むは悲し 後き雲 淡ぐ流れて

雲

をはらかに しあまは をさしあてだまふ。 北原白秋「断章」

では、 ないこの道程に於いて行は ながこの道程に於いて行は ながこの道程に於いて行は ながこの道程に於いて行は ながこの道程に於いて行は

流れ行く水面を見つゝ 流れ行く水面を見つゝ

更に抜き書きさして質ふ。

3

人根性」(思想)が完結した

くにとして把捉せら

想を語ってゐる。

手紙

がた。フイリップの「若き日へは變る。けさ、私はフイリくまゝに、その時々に、私の

河は碧緑色で質に生き生きとしてゐたし冷々としてゐた。燈火をつけた大き とな船が、飯捷な大きな獣のやらに右往。とた住しながら、そこに白と赤、光梁と 歳た水々はざわめきしなひ、限りなく葉 ふた木々はざわめきしなひ、限りなく葉 ふやそよがせてゐた。…… 「マリ、ド、ナデイエ」のであらり、な

に果敢なし に果敢なし に果敢なし でやる

りてをればただ

息にのめほせる子が調乳の量の少な

族根性、困つたものです。 島園根性。温室根性、勞働責

若干の思ひ出

一九三二年後半期

れらが行はれる場所によつ で展別することが出来る、 で展別することが出来る、 も領域である、だがそれら から離れてエロテイックな から離れてエロテイックな 電、腕へ、足、足背から又 、前額にめかみから頬と 、前額にめかみから頬と な、腕へ、腕へ、

る。ただ、口から口へのキッスが相互的なものであるのと異なり、身体へのキッスが相互的なものであるのと異なり、身体へのキッスは異へる方にも、賞ふ方にも非常に建つた種類の快感を感ざせるのである、お覧ひが同時にそれを交し得る場合にはより一層然りである。

映畵ニュース (未完)

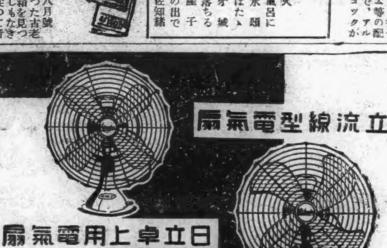
育乳小 兒兒 科科

5022

用天宇治町

局淺基電池與造珠会社

小倉久雄



松屋工業滿鲜雜代理店

扇氣電井天工日



際館のは黒節 左會は 記を最 へ乞寄 40

所伦製立日 でルグス団工具代理市

馬真電氣烧竹

AND THE PROPERTY OF THE PROPER 城西商店 64 56 36 62

教等が夏の大敵臨虫征伐の一大福音

俄然飛出した强力殺虫液

都新京の赤駒病は此のコーロス(可落死)で萬

鈴木高與先生

所捌賣元液スローコ

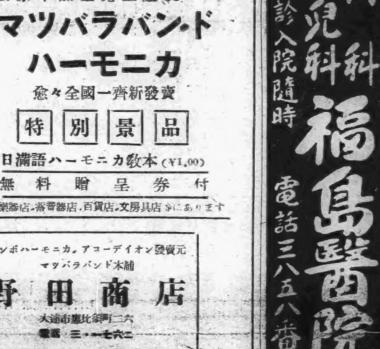
t 1 = = = 0 0



男性の賞讃 手入れせぎる原一 当ませて見え治気に乏し アクドイ原 タンジーによりー



待望久しかりしトンボの超特作 松原干加士先生監製 バラバン・ド





53日

91 1 814 商

材料

有名樂器店、蓄置器店、百貨店、文房具店等にあります

織明電電路货 調機理店三長帝會 東天千代田油リ三四 番. \$ 心力 0 % 5 7

りの夏を彼は書いてゐる

は馴染まず

**が上に** 吹き降りのはげしきなかを**踏りつつ思ひはただに病む子** 

**陽離所に吾子を残していつしらに雨風となり外に出でに** 

す。日よりは此處に居る子ぞ病院の白堊の部屋を凝つと見

帰離病含べつよくあしたの石墨雨降るなかを連れられる。「「「なる」

六月十七日吾子似性赤痢

と決定滿鎌分院に隔

秦天帝五京小

む

煤

思者帰送の白き自動車に親子つれ乗せられてゆくはさび

セエ はんの一寸したことにも彼女は苦しみいる愛に恵まれないが爲めに惱みに惱みに惱みに惱みに惱みに惱みに惱い、驚になる。、變になる。。

彼女は單純で、無邪氣で善良

を子呂

手許にその『協和』が無い のが残念である。同號には資 料に「南京政権とソヴェート 政権」を私が課出してゐる。 七半三段組で五頁中あるから

一は「づ」、「調乳」は「おら」、「西風」は「あら」は「あら」

のやうなキッスは、

上腿へと性の機闘へ近づく

よりも原始的なものであるアベは、口から口へのそれ事實に於いて身体へのキ

今の電近しと思ふ風呂にあり 水 畑 窓しめて温実晴しはた > 神 平 城 手花火のたら ( 落ちる 水の上 盛 子 太の上 なりて家鴨の出で メをり たりて家鴨の出で

席題、雷、 在火

「くるま」、「吾子」は「あし」、▼外」は一と」、「頭

れしげに妻が電話のほづめる

日本消火ピストル

の記曲に入

カタログ連里

雷

お駅 会球料線 気質 工具

抑百貨店

一光雷化洋行

有隔點光纸 大 門 「 禁 場

ムラー マツクリーン会社 東京市京福祉観復三丁目・銀万間ビル

第二 十八 胃四十四季

itm m B).

# 月ケ六娠妊

分が最らはら 頃まやう 子り月また から でうになる を ない を に はに りんしま 中まめ り 小な船にま

# 月ケ七娠妊

# 月ケ八娠妊

888

特にはらかかります。 神とはらかかります。 一を表している。 一をまたいる。 一を表している。 一をまたいる。 一を、 一を、 一を、 を、 を、 を、 を、

# 月ケ九娠妊

# 月ケ十娠妊



(3) (2) (5), (4)(1)

経養然ス人血 症良不りの 輕快に 感障害

主

テ血

NB 114

K

-+

(三百六十段人)

面八十錢

僕力

骨軟化

全國各地産婦人科及産院に 於ける綜合實驗報告の特徴 が幾である 分娩が順調である為を乳の質が くなりお乳の出が豐富である 分娩が順調である為發育成長 を出さずクサが出來ない を出さずクサが出來ない を引かない 長るが良

> 社 會.式 友 吉 商

# 月ケー娠妊

# 月ケニ娠妊

# 月ケ三娠妊

## 月ケ四娠妊

## 月ケ五娠妊

を恢復する。

盛る人に なる大の は多大の は多大の は

相違があり

ます

ます 従って最近産婦

採用さるゝ澤も肯かれますをいる。

ばるで下かれた。 はは、 ででですが、これに横のですが、これに横のですが、これには、 ででですが、これに横のですが、これに横のですが、これに横のですが、これに横のですが、これに横のですが、これに横のですが、これに横のですが、また、 を変さない様々ですが、これに横のですから、 を変されば、 を変されが、 を変されば、 を変されが、 を変されば、 を変さなが

(七)

今後は嚴重警戒

眞殿公會堂書記長談

て最適任者を講師として網 に関連し得たので非常に期待し というである。 である。 である。 である。 である。

我國現代教育の目標

二十日 午前十時一

は二十日絕好の天候に惠れ午 終 は二十日絕好の天候に惠れ午 終

込み、ジャックナイフダイブ 終つて水泳指導員橋本君の職 鴨打土木係長の工事經過報号

法、拔手伸、片手拔等の美技用 承法、双手日傘、同日本泳

浮洲土木科長

近く着任

開

ルは睾々しく開かれ指導員の

林省公署(民政羅土木科長は黒 林省公署(民政羅土木科長は黒

とゝなり近く着

H

三千圓の日

本品忽ち賣切れ

口

十二日から十六日までの五日 十二日から十六日までの五日 「極めて良好なる成績で三千圓 極めて良好なる成績で三千圓 人により買取られ残り七百圓 人により買取られ残り七百圓

質向上に專念努力しつ」ある 質向上に專念努力しつ」ある 主催の第一回夏期教員講習會 は頗る好評を博し且教員の向上にも効果的であるに鑑み二十日より三日間午前、午後の一回に亘り自張小學校に於て

軍人のため、半載河商務總會 の處、態々廿日より住民の勞名譽の慶死を遂げた日滿廟園 豫で住民間に告附金を募集中變以來變多の計匯工作に依め 卒先して忠魂碑の計畫を模で演演省半載河の住民は端洲事 々長の發起にて在留日鮮人に

カ泰仕で建設に着工したが、

日満軍のため

000

は教育機關の売賞、教員の素類京特別市公署教育科に於て

教員講習會

本市は經費其の他で観察能では、本市は經費其の他で観察を出ってと思っての非常を提へて後しからの非常を提って、本したいと思って他し教員の素質向上に資したいと思っても、本市は經費其の他で観察能

別市公署の

寫眞說明

の双手日傘

プール閉き風景、

# 一會堂を餌さに 甲込みの殺到に目をつけ P

日分も聴いた

しまし

たとばか

た は随分ボロ儘をした者もあるといるといふ新手の遺り口で中に入るといふ新手の遺り口で中に入るといふ新手の遺り口で中に入るといふ新手の遺り口で中に入るといふ新手の遺り口で中に入るといるがはなった。

書入れ期がきたら再び

がなくなつたやうであるが、対抗に行ったのでそうした事實がなくなったやうであるが、対抗は異行界も夏枯れ びからし 外交部 二十二日 午前十時 感想 林出書記官 「林出書記官」

**法制局 二十二日 午後一時 賞業部 二十三日** 

| (業部 二十三日 午前十時 | 中央銀行 二十三日 午後一浦州國一般法制に就て | 輸吾國之產業建設 | 十二時 | 十二時

權利金をせり

二一回(同)山木四珠練原投 一、竹內右飛、大野投棚、へ (新)小淵二疊左强要安打に 出で二弦、小田四球、小橋投 前極性バンドに走者疊進、浅 香三板、高橋四球に送られ満 香三板、高橋四球に送られ満 全選一點を先取、藤戸二側(同 等。新一點)

ゴロトンネルに生きたが大河 内二爾▲〈新〉高橋左前安打 大田原の犠牲ペンドに送られ 藤戸政葡池田四珠三輪遊匍 (兩軍等) 班(代走小田)高橋三衛、「隋 五 回 (同) 三者凡邊、(新)

志祉利有らず

木田四球、

造作權利讓り度し

月收入 現在百六十四(貸間十三戸外住附)

泌散

尿膚科科

科科

第二六〇六

側希望の方は左訛へ御來聽下されたし但し仲介は御斷り申します

新京入船町三ノ十三

市

所市内目技の場所

藤戸三笠、三松匍藤戸中前安

ないやうだが、何をい

↑日午後三時から同志社對滿 今日午後三時から同志社對滿

省公署技正、在吉林省公署 十七日任新京特別市公署土 十七日任新京特別市公署土

満洲中央銀行に就て 採造幣科長

行先不明で 演習召集令狀

遂に交附不能 電々會社、新京電話局では感 を完了せんと、糖種の準備 に忙殺されてゐるが、同局で でに變更、加入事務受付並に務時間を午前七時より正午ま務時間を午前七時より正午ま の他の関係より、サンマータも暑熟時に於ける事務能率そ ムを實施することとなり、

同年七月二十六日解雇せられ 竹中理事夫人 挨拶に來京

はたりの音兵事係 へ用出た 能の音兵事係 へ用出た 能の音兵事係 へ用出た 吉林往復の上、同日午後八時十分着列車で來京、二十二日十分着列車で來京、二十二日 **愛列車で歸連の兼定** 

今夏流行の魁

唱ふる

これ!

交通會社幹部

同二年六月任吉林 籍東京品川區,大 大土木工學科 一大工本工學科

役橋口勇九郎、支配人永井京交通股份有限公司常務取 造の南氏は二十旦挨拶に來社

輸入品

優る

滿洲產力

酒幣泉被賣

跨線橋

禁止中を近

ごろ利用者があり

險を考慮して

は完了の豫定である

調査に及ぶと女史過数 の句を添へて暑中見舞駅を告 の句を添へて暑中見舞駅を告 の句を添へて暑中見舞駅を告 の句を添いる。 ととろがその

●宣傳所を設けました實費にて御試飲に應じます

北湖代理店

電話二〇間二、二五六二、

六七五五

造

元

造

**本は保存されてあつた新京録 する向があるので二十日同路今春以東通行を禁止しながら 北住民が無理に路線橋を通行** 

線橋の撤去を開始した

模範ダンス公開

山市、市村兩氏

東五條踏切り

市四日から通行禁止

の豫定で十月三十一日までに ・ は二十四日から向ふ約三ヶ月 ・ の豫定で十月三十一日までに ・ の豫定で十月三十一日までに ・ の豫定で十月三十一日までに ・ の豫定で十月三十一日までに

(木曜) 新京會館でデモンス

洲野に一本かほるお美那

日本無路教師協會理事山市太平氏(東京銀座ダンスホール所屬)及び市村護治氏(和泉橋ホール)は大連、奉天に於橋ホール)は大連、奉天に於 かどうかとカンノ〜▲女史のに憤慨、吾亦香を知つての句に憤慨、吾亦香を知つての句

本劑ハ

何志社對滿四

西

**今日野球試** 

合

頗ぶる好成績

ハス営業

思希でうんと勉强したい 電話局けふ 取れる範囲で出来るだけ る積りで乗客に 0寧 Ol

せ刀 親 銀 番品品兒三話團

> 日本タイプライター 官沼タイプライター

> > 綜合教授

募集人員數十名

から

タイピスト生徒募集

第五期生八月一日ョリ授業開始

授業時間、午前、午後、夜間 右希望者ハ左記へ至急御申込ミア

新京永祭町一ノ九(ダイヤ梅)電話六二九五

日滿タイピスト學院支部管屋商舎新京支店内

東海林太郎の此の曲 道中数 三人四日間都々逸くづし 芸田 立日 皇田 泉木 三人芸面めこ の港 がれ 漢界の人氣王 春日井梅鶯師 地の人物を浪曲の上 鉄り薫風 に再生した神色家 鉄り薫風 に再生した神色家 鉄り薫風 新線のレ おのレコード界に 一般のレコード界に 药的物。明 三人吾面 富士。白雪 下だ腊

疾内服薬

**曽テ其比照ナキ卓越セル内服難ナリ** 無近奇蹟的ニ酸見セラレタルモノニシテ

本劑ハ

大湖市大山通り十七番地口

大都藍にも何度い立ち、市政と府

立つて行かう。標歌の外変上の

感して来たが、いつも後から出

一郎は、大きな繁確の似に見れ 町田信也が配った跡で、最地観

一個を云ふのだ、お前のやうな木人ので格すらある、瞬間を出てとう云った―― 歌地

(百九十六)

E

酒

**病、痔疾科** 

融解論語に向って能

で持つておれ、と云つてくれ」

TE

※ て来て一連の手紙を渡した。 女中が出 お他ひでどざ

和洋百貨

金泰洋行

りだ。 言思に遊ぶやうになつたの も、その苦しさからだ――郷は、一郷は、一郷は、一郷は、一郷は、一

近は、動用記者とか動用新聞とかなって戻をふるつたばかりで、歴

人として記録してゆくことが、自ったとして記録してゆくことが、とうしても政繁に

は末はを食の野寒れ飛と横脚が定すると、いってるる。瞬り才を傷んでが々ないで大きして夢の野き所が動くなったした。 いまったが、歌古の云かとはり、歌古の云かとはり、歌古の云かとはり、歌古の云かとはり、歌古の云かとはり

分の性質にぴつだりしないやうに

一億二千五百八十萬圓

位 話 三七五六拳

(人) 院() ()

ヘロイン中毒

ハベ塗りには

移轉廣告

院長

建築金具 工作

88

淌滬

萬

7700

DD

H



氣に

社會式株酒麥本日大 達用御省內宮

新京驛より中央通へ二丁

京

員

御一

泊八十銭)

浴室の設備あり

接具大清潔 匈家族連れの方便利なり

瓦斯熔接、说

ト食堂經營者 市内目拔の場所高級アバ

社

美味養菜茶子

引建海 築材料運 蚀 運



供子、印那太金)クルミナコの治明、ンゲーロトバ 罐並クルミ種各の治明及(罐赤、印 上呈品景等六と枚一券籤抽に毎上買御罐一内の記上

(品一の室を伸かれ何内の肥下) 本〇〇二等1 桐 、器音蓄ルブターボ 、機眞鴬トスペ 、車母乳 (尺着)スレパ紋絹純、臺鏡見姿、臺リ辷、笥簟 (品一の望着物かれ何内の配下) 本〇〇三等2 時置術美 、臺鏡 、ブンラタイパ 、スーケツース

供子、機窩映ーシフレ、ルソラバ、計時柱、計 コネンネ 、トツセ服ービベ 、車輪三 、車動自

(品ーの望希側がれ何内の肥下) 本〇〇五 等3 ンタス製電 、器入吸 、形人達獨 、一バカメシオ トツセ茶番 、トツセーリベ 、布毛純用供子 、ド トンメリア 、トツセ具房文 、具玩級高

本000、0- 等4 ラトパ治明 本〇〇〇、九八 等5 粉焼クルミ治明

本000、000、一等6 酸石んやち赤製特 日一月十年十和昭 表發簽當 • 日十三月九年十和昭 切稿 せまいさ下存保部に切大に許手能でま表望は秀器他の





